

スペインのアコーディオニスト「ミゲルさん」の紹介

関東アコ実行委員の岡田栄子さんは、7月開催の拡大実行委員会の中で、ミゲルさんとの出会いを次のように語っていました。

新宿区にあるアコ研の練習会場へは車で2時間。その日はいつもの駐車場に空きがなく、少し遠いスーパーの駐車場に入れました。アコを背負ってレジを通ったところ「これはアコーディオンですか？」と背の高い男性に声を掛けられました。帽子が似合い、モデルみたいな容姿と素敵な声におぼさんはドキドキしてしまいました。

美しいガールフレンドと一緒にの彼は、「私はミゲルです。私もアコーディオンを弾いています。」と連絡先のメモをくれました。背中のアコが取り持つご縁、素敵な出会い嬉しいです。9月12日の第33回関東アコに招待したいと思っていると会議の中で語っていました。

《「ミゲルさん」を今回紹介するにあたり検索してみました》

「ミゲル・アンヘル・イバニェス・ムニョス」で検索すると

スペイン アラゴン州 サラゴサ出身 1979年8月12日生まれ

1999年 テルエル音楽院にて室内音楽最優秀賞を受賞。

2003年 バルセロナ市立コンセルバトリオ（音楽院）アコーディオン科卒業。

2004年 来日。スペインの伝統音楽を演奏する La Tuna de Japon (ラ・トゥナ・デ・ハボン) のアコーディオン担当。

2007年 NHK教育TVスペイン語会話のメインキャスト。（4月から1年間）

2009年 ラテンロックバンド母乳酒結成（bonyushu.com）都内で活動中。

※動画、音源は見当たりませんでした。写真で見ることができました。

そんなミゲルさんは、9月12日開催の第33回関東アコーディオン演奏交流会を聴きに来られ、後日、前述の岡田さん宛てに感想が届きましたので紹介します。以下ミゲルさんの感想です。

岡田さん、この間誘っていただきありがとうございました。

久しぶりにアコーディオンの世界を見ることが出来て本当に嬉しかったです。沢山のアコーディオン奏者がステージに出て、レベルを問わずにこの楽器への皆んなの愛情が感じられて凄く感動しました。今の世界の辛い状況の中でも頑張ってる皆さんを見て私も頑張らないといけないと思って元気が出ました。

コロナ禍になって結婚式以外の音楽の仕事はほとんどなくなりました。火曜日の夜はバンドのなかで伴奏の仕事していますが大した事ではありません。

あとは、アコーディオンとはあまり関係がありませんけれども、去年からこのYouTubeのチャンネルをやっています。変なポップスのビデオですから無視しても大丈夫です。https://www.youtube.com/channel/UCFEf0kMuEnWg6jxt_APfNg

今後よろしくお願ひします。

ミゲル